

第4回境港市みんなでまちづくり推進会議録

日時：平成28年1月21日(木) 18:00～19:00

場所：市民活動センター

日程

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 協議事項
 - ・市民活動推進補助金要項の改正について
4. 報告事項
 - ・平成27年度市民活動推進補助金事業の実施状況について
5. その他
 - ・みんなでまちづくり推進会議委員（第5期）について
 - ・境港市総合戦略について

出席者（敬称略）

石橋文夫 植田建造 遠藤恵子 梶川恵美子 門脇紀文 門脇京子
土田良和 徳尾 勝 松本幸永 渡部敏樹

欠席者（敬称略）

水田浩司

<開会>

（事務局）

それでは、定刻となりましたので、平成27年度第4回のみんなでまちづくり推進会議を始めます。

本日は、お忙しい中、またお足下の悪い中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。いつも貴重なご意見や熱心なご議論をいただき、感謝申し上げます。

今回は、市民活動推進補助金の審査はございませんが、今年度の補助金審査における問題点に係る補助金募集要項の改正、今年度の市民活動推進補助金採択事業の現時点での進捗報告及びその他事項について、ご協議、ご意見いただければと思います。

それでは以後の進行は、会長にお任せしたいと思います。よろしく願いいたします。

（会長）

皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

2年間の任期があつという間に過ぎたように感じますが、委員の皆様のこれまでの経験を

活かし、市民活動推進補助金がさらに有効に使ってもらえるように、市民活動がさらに発展していくように、これからもご尽力いただければと思っております。

今年度の補助金審査について、補助対象期間について、審査の前に事業の一部が終わってしまうなどいろいろな問題がありました。そういうことを思い返しながら規約の改正についても考えていかなければならないと思います。それから、補助金採択事業が今、どのように行われているのかを事務局がまとめておりますので、報告いただき、今後の参考にしていただきたいと思います。今日はよろしくお願いたします。

それではまず、「協議事項 市民活動推進補助金要項の改正について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

今回、補助金要項の改正をしていく上で問題点が2点ございました。

どちらも今年度の市民活動推進補助金の第1回の募集の申請団体の申請内容についてのことです。

まず1点目は、募集期間内の事業であるが、補助金の審査までに事業の一部が終わってしまうという内容について、補助金の交付決定以前の経費について取扱いをどのようにしていくかということです。

2点目は、事業が市外で実施、今年度は米子市での開催ということでありましたが、そのことについて、事業の実施場所の市外要件についてどのようにしていくかということです。

この2点について、今年度は補助金要綱、補助金募集要項等での明確な取り決めがなかったため、審査会で議論の上、申請どおりの内容で採択いたしました。平成28年度を迎えるにあたってその点について要項の改正を行わせていただきたいと思います。

この2点について、県内他市が類似の補助金でどのように取り扱っているかを確認したところ、いずれも補助金要綱で規定するのではなく、募集要項や内規などで規定しているという状況がありましたので、今回は事務局案としては補助金募集要項の改正ということでご提案させていただきます。

まず市外要件について、補助金募集要項に「対象事業は市内で実施する事業となります。」と追記した上で、「ただし、主に市民を対象にした事業（参加（予定）者の過半数以上が境港市民）であり、かつ市外で開催するやむを得ない理由（事業に必要な施設・設備等が市内にない場合など）がある場合には、市外での実施についても対象事業として認められる場合があります。」との内容を追記したいと思います。

こちらについて、県内他市の対応を確認したところ、対象事業の市外要件について、補助金要綱では規定していないが、それぞれ過去の経緯や内規で判断しているということでありました。鳥取市については、市外開催は対象外、倉吉市、米子市については、市域が広く、周辺に町村がある関係もあり、メイン会場が市内であり、一部を周辺町村等の市外で開催するものに関しては、内容を勘案した上で補助対象としているとのことでした。そ

のほか、倉吉市の事例では、市民を対象にしたスキー教室という事業の申請があった際に倉吉市内にスキーができる山がないという特殊事情があり、市民が対象の事業であるという内容を勘案して、補助対象としたということがあったようです。

このような他市の対応状況を勘案しまして、市外要件について先ほど説明した文章を補助金募集要項に追記するという改正を行わせていただきたいと思いますと考えております。

続いて、交付決定以前の経費の取り扱いについてです。補助金ですので、補助対象となる経費は原則、交付決定後の経費となることが大前提のため、特に補助金要綱、募集要項にも記載していないところですが、申請団体への周知のため、募集要項に「補助対象となる経費は、事業を実施するのに直接必要なものであり、交付決定日以後のものとなります。」と追記させていただきたいと思っております。その上で、以前から記載しておりますが、「なお、申請事業に必要不可欠な経費については、交付決定日より前に実施されたものでも補助対象経費として認められる場合があります。」と付記することで、内容に応じて交付決定前の経費も認めることができるようにしております。

また、募集要項の申請スケジュールに審査予定や交付決定予定日を5月上旬などと記載するようにし、申請者が審査や交付決定がいつ頃になるか把握できるようにしたいと考えております。以上が募集要項の改正、追記を行う部分です。

これとは別に募集要項には記載いたしません、委員の皆様で内規としてご協議いただきたい内容がございます。

交付決定以前の経費の取り扱いについてですが、今年度の申請でありました、申請募集期間内であるが、審査の前に事業の一部が終了してしまう、この場合、2つのイベントを行う事業のうち、一つのイベントが審査前に終了してしまうというものでしたが、これについて募集要項には記載しませんが、内規として、審査が行えない内容のものについては認めるべきではない、つまり、審査の前に事業の一部が終了するものについて、審査前の経費は認めないということにさせていただければと考えております。

事業実施に必要不可欠な経費に関しては、交付決定前にさかのぼって認める場合がありますが、例えば、年間4回のイベントを行う事業があり、そのうち1回が交付決定前に終了するというのであれば、その1回の経費については補助対象経費として認めないという形で以後の内規、判断基準とさせていただければと思います。

以上、募集要項の改正について事務局案を説明させていただきました。ご協議よろしくお願いたします。

(会長)

ただいま事務局より説明ありました。今年度、補助金審査にあたって非常に悩んだ部分であり、きちんとした取り決めがなかったため、最終的には申請通りの採択と致しましたが、今後の対応については、はっきりとした方がいいのではないかとということで募集要項を改正していくということになっております。

交付決定以前の経費について、事業が先走ってしまった部分について、仮にそれが良い

事業であったとしても認めるのは適切ではないと思います。今までそれがはっきりされていなかったのを、はっきりさせるということで事務局案の通りでいいかと思いますがいかがでしょうか。

(委員)

そのような形でいいと思います。

(会長)

もう一点、開催場所についてです。

事務局の話にありましたように、例えばスキー教室など実施環境が市内にない場合には、市外で開催せざるを得ないと思いますが、そのほかについていろいろなケースが出てくると思います。そこで「認められる場合があります」としてありますので、審査会の場で委員の皆様にご意見を頂きながら決めていくという場面が出てくるかもしれません、その際には事業の内容をみながら、助成すべきものなのか判断していくということで、市外は全て駄目と規定するのではなく、内容によって考慮の余地を残していく、ケースバイケースで対応していけばいいのではないかと考えておりますが、いかがでしょうか。

(委員)

例でありましたスキー教室のように、参加は市民であるが、市外で開催せざるを得ないものもあるかと思いますが、「認められる場合があります」という形で考慮の余地を残していくということでいいと思います。

(委員)

特にスポーツイベントの場合、開催時期が一時期に集中してしまい、会場の関係で市内開催できないということもあるかと思いますが。

(会長)

そのようなこともあるかと思いますが、考慮の余地は残しておいた方がいいと思います。

以上、2点について事務局案の通り、募集要項改正としたいと思いますが、ご意見等ありますでしょうか。

(全員異論なく、事務局案の通りで了承)

(会長)

それでは、続いて「報告事項 平成27年度市民活動推進補助金事業の実施状況について」事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

資料として、実績報告集の案をお配りしていますのでご確認ください。以前、委員の方より、市民活動推進補助金について事業の審査は行うが、採択事業がどのようになって、どのように進捗しているのかについて、報告をもらう機会がなかなかないので、会の際にまとめた資料や報告をいただけないかというご提案をいただき、作成させていただきました。現時点で終了している事業をまとめた実績報告集の案となりますが、最終的には採択事業を全て記載し、次回の補助金募集の際には、参考資料として公開していきたいと考えております。

(現時点での終了事業について説明)

(会長)

事務局より報告いただきました。このように事業を冊子でまとめていただくと非常にわかりやすくいいと思います。私がよく行くところなどは、補助金採択事業を全て事業風景や内容などをパネル形式で展示をして、補助金がどのように使われていったかを一般の市民の方にわかるようにしていますし、事業に対して賞を付けているところもあります。

(委員)

採択事業については、補助金を受けて事業実施している以上、市民活動推進補助金を受けているということをわかるように表示していかなければいけないと思います。

今年度の採択事業について、戦争展を開催する事業に関して、実施団体が政治的側面のある団体ではないかと議論になりました。事業についても8月の中旬に市の教育委員会主催で戦争展示の事業が開催され、半月後に採択事業である事業が開催されており、開催時期についてももう少し考慮が必要ではないかと思いました。補助金要綱に政治的な主義・主張を目的に活動する団体は駄目だと記載してありますので、その点についてきちんと判断していかないといけないと思います。

(会長)

そのような意見もあると思いますし、いつも問題になることだと思います。事業実施団体が政治色が強い団体が主で構成されているとしても、いろんな団体が参画していたり、いろいろな講師の方を呼んできてやっていたりするとすると、必ずしも政治的な団体であると断定できないですし、参加される方がそのような団体の方だけではなかったりすると、政治的な事業であるとは断定できません。政治的なものと断定してしまうと、事業に参加する一般の方から苦情が来ることもあるかもしれませんし、判断が難しいところだと思います。ですので事業内容によって、委員の皆様で協議、判断していかないといけないと思いますし、そのように進めていくべきではないかと思います。

(委員)

事業報告について、私が言いだしっぺになりますが、このようにまとめていただくと、審査後の事業の進捗、成果も分かりますし、審査をする委員としてもいいことだと思います。私も採択事業については、大半のものを見させてもらっていますが、みなさん非常に一生懸命取り組んでいただいています。

(会長)

事業報告を見える形で出してもらえるとというのは非常に良いことだと思いますので、いい意見をだしていただいております。ありがとうございます。

(委員)

募集要項の中に対象となる経費の種類が書いてありますが、旅費や講師の費用について、役所のなかでもきちんと金額の規定がありますので、しっかりとした規定を設けたほうが良いのではと思います。それと原材料費の部分で、プランターの種類も違えば、金額も団体によって差がありますし、肥料についてもピンからキリまであります。その部分もう少し厳しく見ていってもいいのではと思いますし、プランターの耐用年数などについても見ていってもいいのではと思います。

(事務局)

経費について、市の方でしっかり規定を定めたほうが良いという意見ですが、例えば講師謝金については、実施団体が呼ばれる講師の方のレベルによって謝金が変わってきますし、事業によっては謝金が高いが、この講師の方でないといけないという場合もあります。

補助金は出していますが、実施経費が全て補助金ではなく、活動団体に自費も出してもらっています。金額が上がれば、自費による持ち出しも増えてきますので、経費については自ずと良識ある判断をしてもらうようになっていると思います。

ただし、委員のご指摘のような、適正でない経費の額で申請される団体もありますので、そういった部分に関しては、この会の場でご指摘、協議いただければと思っております。

(会長)

いろいろな件があると思いますが、全てをきっちり規定してしまうと非常にぎすぎすして使いづらい補助金になってしまうと思います。きちんと内容を判断していくために私達委員がいると思っていますので、その時には公正に考えながら判断していけばいいと思います。プランターにしても1年ごとに更新で申請する団体もありますが、確かに1年で壊れるものではないと思います。

(事務局)

プランターについて、以前からそのような指摘を受けておりますので、プランターの使用状況については、緑化事業は継続事業が多いので、例えば、今年は何年に購入したものを使って、何年のものは廃棄して新規購入するなど、備品の台帳のような形で出していたかどうかということも考えていきたいと思えます。

(会長)

そのようにしていただくといいと思えます。毎年同じ数のプランター購入費を申請する団体もあって、それはおかしいと思えますので、その点把握していただくといいと思えます。審査する方もしっかり見ていきたいと思えます。

(委員)

市民活動推進補助金で助成しているのは、何かしらの市民活動を行い、まちづくりに貢献している方々だと思います。どんな活動にしても、なにかしら活動していくというのはいいことだと思いますので、会長の話にありましたように、賞をつけていたり、市報で特集を組んで、どのような団体がどのような活動をしているのか、市の補助金がどのように使われているのかを市民の方に紹介していくといったことがあってもいいのではないかと思います。

(事務局)

市報の話がでしたが、市報について、市長から今までよりもさらに市民の方に親しまれるような紙面づくりをしていくように指示を受けております。ただ今いただいたご意見も非常にいい意見だと思いますので、検討していきたいと思えます。

市民活動推進補助金を受けていない団体でも、いい活動をしている市民団体がいっぱいおられますので、そういった市民団体を市報で毎月2～3団体ずつでも紹介しつつ、活動に興味がある方は事務局にお問い合わせくださいというような形で会員募集にもつながるようにしていくといったことも実施していきたいと考えております、補助金助成団体についても同様に検討していきたいと思えます。

以前より協働のまちづくりを進めておりますが、活動団体の方々は様々な場面で活動されて、その活動を知っていらっしゃる市民もいますが、市民の大多数の方はどのような団体があって、どのような活動をしているかを知る機会がなかなかないと思えますので市報等を通じて紹介をしていければと思えます。

(会長)

そのようにしてもらえると、その活動に参加される方も増えるでしょうし、また活動を参考にして、新たな事業を始める団体もあるかと思えます。

市報は多くの方が見るものであるもので、団体の活動が数字や文字ばかりでなく、写真

を入れたりして気軽にみられるページをいっぱい作っていただきたいなと思います。
非常にいい意見をいただいたと思います。ありがとうございます。
それでは、次に「その他」に移りたいと思います。事務局は説明をお願いします。

(事務局)

・みんなでまちづくり推進会議委員（第5期）について

第4期の委員任期が平成28年3月25日までとなるので、委員の継続意向についての確認文書の提出を依頼。

・境港市総合戦略について

平成27年10月15日付で策定した「境港市総合戦略」及び「境港市人口ビジョン」について概要を説明。

(会長)

地方創生については、行政が主導していく部分もありますが、市民一人一人が取り組んでいけないといけない部分もあると思います。国際貨客船ターミナルの建設など、今後様々な夢が広がっていると思いますし、今後委員の皆様にもっと活躍していただかないといけない場面も増えると思いますのでよろしくをお願いします。

それでは、今回の会議についてはこれで終了とさせていただきます。

<閉会>